

⑩二度の水害を契機に地域の防災訓練の実施と動員体制の構築 【山形県 三郷堰土地改良区】

- 過去の教訓から自助精神で、防災訓練の実施と動員体制を構築。
- 取組を実施し、地域の内外のつながりの強化を図る。

地域概要

- 三郷堰地域は、山形県天童市に西南端に位置し、最上川沿いに展開する平坦な水田地帯。
- 農業用水は、三郷堰頭首工から取水。取水後は、中山揚水機場からポンプアップによって受益地（約500ha）へ送水。



最上川から取水する
三郷堰頭首工
(出典：国土強靱化民間取組事例集)

対策の内容・結果

ハード整備

- 1度目の豪雨被害を受け、防水堤、水位観測設備を整備。



異常気象時の点検状況
(出典：国土強靱化民間取組事例集)

ソフト整備

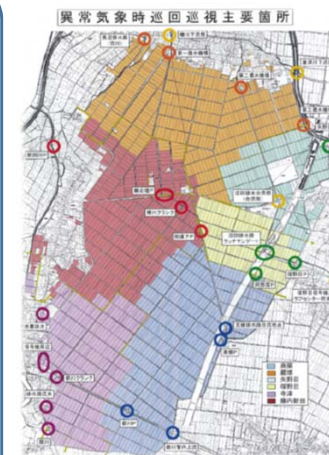
- 対策工事を行ったが、2度目の水害発生。ハード整備だけでなく、ソフト対策も積極的に実施。

【防災体制の構築】

- 改良区関係組織や多面的機能支払交付金の活動組織など、順次連携を図り、防災体制を構築。現在1次～3次までの体制で計130名程度に上る。

【防災訓練の実施】

- 過去の水害を対象にした防災訓練シナリオを作成。平成15年から、そのシナリオに沿った防災訓練、図上訓練を実施。

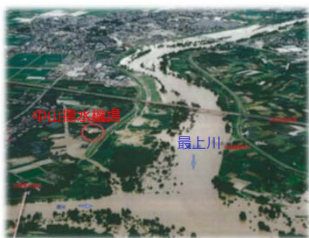


異常気象時巡回箇所マップ
(出典：三郷堰土地改良区提供資料)

対策の背景

二度の豪雨による被災

- 平成10、14年豪雨の最上川の増水による水害で揚水機場が被災。
- 被災時期は出穂期であり、重要な時期にポンプを稼働することが出来ず、昼夜問わず、排水作業等を行った。
- 二度の災害を契機に施設の重要性を改めて認識。



H14最上川増水状況
(出典：三郷堰土地改良区提供資料)



中山揚水機場被災状況 (H14)
(出典：三郷堰土地改良区提供資料)

- 平成25、26年にも平成14年以上の大雨による最上川の増水があったが、大きな水害はなかった。
- 地域住民の防災意識の醸成にもつながっている。
- 地域では、その他、田んぼダムの取組等を行っている。
(このような取組に対し、平成23年に21世紀創造運動大賞を受賞)